

序

松本盆地を訪れるのは、筑波大学の地誌学巡検で3回目である。もちろん、それ以外にも四季折々乗鞍や上高地を訪れた行き帰りに立ち寄ったことを考えれば十指に余るであろう。これは、松本盆地が魅力あるところだからである。善福寺峠から眺めたアルプスの山脈が忘れられず、ウェストンは上高地を訪れ、『北アルプスの登山と探検』を表した。初期のアルプスの登山者のなかに辻村太郎の従兄の辻村伊助がいる。彼は「安曇は水の国である。汗を拭いて立ちどまるそこには、きつと幾く流れの小川がちょろちょろと花崗岩の小砂利を洗いながら、青々とした田圃の間を縦横に走って居る。また旅人のゆく路、恐らく今日余より外には通るまいと思われるこの路に沿うて、尺ばかりの水が浅く輝いて、ある時は葦のような水草の蔭を、ある時は梅に似た花藻の上を、さらさらと流れては左に落ちて、皆、高瀬の支流となる。高瀬川は北安曇野の山沿いを、蜘蛛手に枝別れする清水を合わせて、日となく、夜となく、なつかしい音をたてて、南をさして流れてゆくのだ」(辻村, 1910)と松本盆地を文学的に表現している。周知のように松本盆地は安曇野とも呼ばれるので、英語で表記すればMatsumoto Basinというよりは、Azumino Valleyが適切かと思われる。

松本盆地は盆地床の水田を中心に、果樹園や高原野菜畑からなる扇状地、雑木林や松林からなる里山、および奥山が順次配列するという同心円構造と高度差、南北差に基づく風土から構成される地理的多様性に富んだ地域である。信州の生んだ偉大な地理学者三澤勝衛は、『郷土地理の観方—地域性とその認識—』古今書院、1931、の中で、松本盆地の特色として山葵栽培や天蚕の飼育、雪型、水車稼ぎについて触れている。日本の地誌学を確立したといわれる田中啓爾は塩の移入路や鮭の遡上限界の研究をふまえ、「中央日本に於ける山麓の人文地誌学的研究概報」と「中央日本に於ける高地の人文地誌学的研究概報」を地理学評論6巻(1930)に書き、米作・春蚕の高距限界や冬籠副業として茅野の寒天製造や凍豆腐・氷餅の生産をあげている。このような研究はその後、フィールドワークに基づいた市川健夫『高冷地の地理学』をはじめとする一連の著作によって精緻化された。

このように著名な先人による研究の多い松本盆地を地域調査地域に選ぶこと自体、不遜なことかもしれない。しかし、残雪をたたえた北アルプスを背景とする安曇野の風景と地域性に富んだ松本盆地が私たちに惹きつけたといえるだろう。地誌学の野外巡検は1999年9月と2000年の6月の2年にわたってそれぞれ一週間ずつ実施された。修士論文を書いたものはそれぞれ各自の研究テーマを敷衍する形で、一年生等は教官とともに共同調査の形式で実施した。本書はその成果といえるものであるが、内容は精粗さまざまである。しかし、それぞれ力作といえるものであろう。なお、修士論文を書いた人たちの多くは、それぞれのテーマで日本地理学会秋季学術大会(鹿児島大学)、人文地理学会大会(立命館大学)で発表したことも本地誌学野外実験の大きな成果であろう。

2年次にわたる現地調査に際しては松本市役所の関係部署をはじめ、松本市立図書館、長野県松本地方事務所、調査地市町村の関係機関の方々には貴重なご助言を頂き、資料の閲覧、図書の貸し出しなどの便宜をはかって頂いた。聞き取り調査に訪れた農家や商店、スーパーや百貨店、アンケートに答えて下さった協力者とともに厚くお礼申し上げます。本報告書が松本盆地地域の人々にとって何らかの役に立つことができれば、執筆者一同にとって望外の幸せである。

2001年3月

齋藤 功

目 次

序	齋藤 功	
松本市卸売業の地域的展開		
— 松本流通業務団地を中心に —	兼子 純	1
介護保険制度導入にともなう訪問型在宅福祉サービスの展開		
— 松本市を事例に —	齋藤 幸生	11
松本市における老人会活動の地帯的特性	佐藤 慎吾	21
松本市における外国人生活支援事業の展開	二村 太郎	31
松本市郊外における住民の消費行動		
— 寿台住宅団地を事例として —	福田 和雄	43
リング栽培地域における農業労働力補充の地域的展開		
— 松本市今井を事例として —	大森 祐美	57
安曇野における水田集落の土地利用と兼業化		
— 長野県穂高町青木花見集落を事例として —	松原 真裕	65
	市村 絵理	
	姜 桂和	
	齋藤 功	
松本盆地南西部山形村における郊外化の進展と畑地灌漑農業の動向...	黒崎 郁子	79
	渡部 宏輝	
	手塚 章	
乗鞍高原における宿泊施設の空間変容	豊島 健一	87
	佐藤 淳	
	呉羽 正昭	
松本地域における廃棄物処理の地理学的考察	栗島 英明	99
大町市における山村集落の維持と変容		
— 鹿島集落を事例として —	佐々木 緑	113

塩尻市における中小機械工業の構造変容と振興政策	藤田 和史	123
	小田 宏信	
諏訪湖畔における観光資源の多様性と地域間提携	山下亜紀郎	135
長野市の市域拡大過程と編入地域における施策展開	美谷 薫	147